



豊平の福祉に愛の手が伸びる  
豊平地区マークと福祉標語

# とよひら

題字 関 正 明

豊平地区町内会連合会

広報紙第24号

発行責任者 関 正 明

札幌市豊平区豊平6条7丁目1-12

電話 (011) 811-9435番



今年も「鉄一が里とよひらふれあいまつり」が、八月十九日、豊平六条三丁目の豊陵公園で開催されました。

晴天に恵まれた会場には、たくさんの親子連れの姿が見られ、豊平消防団豊平分団と豊平消防署による、はしご車試乗や、豊平地区青少年育成委員会のヨーヨーつりや、豊平地区民生委員・児童委員協議会や児童会館のゲームコーナーなど、子どもたちに大人気の催しで楽しみ、良い夏の思い出ができたようでした。

豊平商店街振興組合による売店の美味しいメニューを楽しみながらのステージでは、可愛らしい子どもたちの「舞とよひら」、勇壮な若者たちの「粋〜IKI〜北海学園大学」が、華麗なよさこいの舞を披露してくれたほか、歌やダンス、バンドの演奏があり、日中から夜まで、会場も一体となった大変な盛り上がりが見られました。

このように盛況で、地域のたくさんの方々にお楽しみいただいたまつりでしたが、一方で、ごみの減量化に努め、環境への配慮もしています。

来場された方には、会場内四か所の特設の分

## 第十四回鉄一が里とよひら

# ふれあいまつり

まつりも環境を大切にしていきました。  
町内会連合会環境衛生部と女性部、大活躍

別ごみステーションで、ごみの分別回収にご協力をいただきました。

各ステーションには、町内会連合会環境衛生部と女性部が協力して常時スタッフ数名がついているようにし、蒸し暑い中、ごみに採まねながら、

①燃やせる物(割りばし、紙類、アルミホイル、残飯)、  
②資源物(トレイ類、バック、カップ類、プラスチック製のふた)、③資源物(ベクトボトル、アルミ缶、スチール缶)の仕分けを徹底しました。

分別は、このまつりでは毎年行っており、地域の環境への意識の高まりやご協力もあって定着してきており、近年は、まつりのごみの総量も増えることなく推移しています。

このように、町内会連合会環境衛生部と女性部の多くの方々の活躍により、資源物は再利用することができ、ごみ処理費用の削減にも成功しています。

大変な作業はそれだけではありません。ステーションのごみの整理と排出準備、ステーション外の公園内外に放置されたごみの片づけ、その他会場内の設営撤収のため、当日の夜遅くまで、また、翌日も早朝から、環境衛生部スタッフ



フが作業をしています。今年のもつりの翌日は雨。一層の苦労がありました。

放置されたごみは少なくありません。また、近年、会場で販売していない商品のごみが多く排出されている現状もあります。クリーンで楽しいまつりをこれからも長く続けていくため、ごみは、来場者各位が責任を持ってステーションで片づけていただきますよう、また、お酒や食べ物の持ち込みはご遠慮いただきますよう、よろしくお願いいたします。

### 町連総会開催

平成二十四年度町内会連合会定期総会が去る五月十八日(金)に豊平会館大広間において開催されました。

連合町内会役員、各分区町内会評議員等五十五名の出席により、平成二十三年度事業報告、会計報告、監査報告が執行部より提案され、いずれも全会一致で承認されました。

引き続き平成二十四年度の各部事業計画、会計予算案が提案され、全会一致で承認されました。

本年度は役員改選期に当たり、後記の通り新役員が決定し今後二年間活動を進めて参る事になりました。

総会終了後、豊平区長、市民部長等来賓を迎え懇親会が開催され、意見交換と親睦を深めて午後八時過ぎ終了いたしました。

又、この席上、永年町内会活動に功労のあつた方々に表彰状と記念品が贈られました。

【受賞者】 敬称略  
小林 梢 四分区町内会

豊平の歴史 No.3

かつて豊平橋付近の住宅は貧民といわれる人々が多く住んでいた。

豊平の六番地といえは貧民街として市内の人々から軽蔑されて呼ばれていたのである。

豊平川に流れてくる木材を拾い暖房にし、華儀の棺桶担ぎや、周拾いで生計を立てていた。大正13年札幌にやって来た大石スウはこの様な地に札幌保育園を建てたのである。

地域の子どものための教育、保



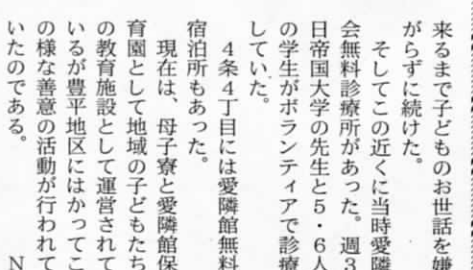
育のため、朝早くから子どもを預かり、食事を与え、おしめを洗い、夜遅く引き取りに

来るまで子どものお世話を嫌がらずに続けた。

そしてこの近くに当時愛隣会無料診療所があつた。週3日帝國大学の先生と5・6人の学生がボランティアで診療していた。

4条4丁目には愛隣館無料宿泊所もあつた。

現在は、母子寮と愛隣館保育園として地域の子どものための教育施設として運営されているが豊平地区にはかつてこの様な善意の活動が行われていたのである。



# 神宮祭神輿九年振り 豊平が年番

平成二十四年六月十六日  
(土) 北海道神宮祭神輿渡御が九年振り豊平地区が年番(当番)となり、豊平地区と美園地区を初めて巡行されました。

昨年、の菊水地区に倣い地元により多くの人々に見て頂くとのことで出発地は地元豊平からとなりました。

豊平地区では半年前から計画し、準備をすすめて祭典当日に臨みました。

当日の朝は出発地の北海きたえーる前の広場と周辺に千人を超える役員の方々が集まって来ていて、各部の装束、儀礼服、制服の人々が目映いほどでした。

また各地より早朝出発してきた山車も集合して来るなど名だたる観光地より集まった数十台の人力車も既に揃い、

程なくして神宮本殿にて神輿に神々がお移りになる儀式を終えたメインの四基の神輿も、万全を期して到着した。

出発は予定通り多くの人々に見守られ、見送られて、きたえーるの前広場を出て順路へ入った。

天候にも恵まれ、先に山車四台、其の後に神輿渡御、後に山車四台の行列が色彩豊かにお囃子を伴ういつもの時代絵巻を見せる行列が続きました。

渡御は行列を先導する人力車、年番旗が続き、万灯と呼ばれるお囃子が行き主催者である議長、副議長の馬車が進む、各地区代表者の狩衣姿も人力車の上にある。

色鮮やかな旗々のあとには、天狗の狼田彦がいて稚児が可愛く続いている。

それぞれの神々の旗が掲げられ鳳輦と呼ばれる威光を感じさせる四基の神輿が進む、怜人と呼ばれるお囃子の次は馬車の、宮司車、責任役員車もあり、後方を務めるのは裨委員であった。



行列の全体を警護する渡御部と交通部も頼もしく進んでいる。

行列は豊園通りを美園へ進み環状通りへ、そして三十六

# 一千万人ラジオ体操祭 十年振り札幌で開催

十年振りに一千万人ラジオ体操・みんなの体操中央大会が札幌で開催されました。

平成二十四年七月二十一日早朝四時五十分豊平会館前に集まった五十一名は日頃豊平小学校グラウンドで毎朝ラジオ体操をしている仲間が参加致しました。

予定通り五時に出発、一路会場の北区モエ沼公園へ貸切バスは早朝の比較的すいた道路を順調に進みました。

しかし会場に近くなると東京や大阪など全国、全道からやって来たバスや車が駐車場

へ並んでいて私達のバスも漸く五時五十分会場に到着、開会式の六時に何とか間に合いました。

受付で参加賞を頂き会場中程の場所を確保しました。

やがてNHK会長、郵便会

社社長、小野清子全国ラジオ体操連盟会長の挨拶、高橋北海道知事、上田札幌市長の歓迎のことばがあつて、六時三十分テレビ、ラジオの生中継で参加した約八千人の元気なラジオ体操となりました。

豊平地区からは、旭水ラジオ体操会からもバス一台、三



十余名が参加し、体操終了後合流して記念写真を撮り、各々帰路につきました。

豊平小学校グラウンドで四月中旬から自主的に三十名程が体操を始め五月五日から地域の

号線へ入り豊平へ、初めて神輿が通る美園地区の多く人々が沿道を埋め、やっ手と振れる様になった幼児や、土曜日であつてか沢山の小学生の笑顔が優しく迎えてくれました。

大門通りを経由して一条橋を通り頓宮神社で昼食、休憩し、午後のコースは例年とはほぼ同じ市内を廻り四丁目三越前で駐蹕祭、街の人々は楽しみに迎えてくれ、大通りから神宮へと向かった。

当日交通整理に携わった豊平警察署を始め各警察署の皆様や関係者に厚くお礼申し上げます。

さて、神宮へ帰還した鳳輦から神々が本殿へお還り頂く儀式がある、神々とは、大自然の恵みを与え、生活の発展を守り、医療等の手助けをし北海道の開拓に力を注がれた神々で、神事が終わると北海道に夏が来る。

皆さんが参加し十月体育の日まで開催し、その後雪が降る十一月まで自主的に行っています。

今回の一千万人ラジオ体操会参加の感想を六年生の近藤さんに書いてもらいました。

私は今年の七月、学校の友達と、一千万人ラジオ体操に行きました。

そして、みんなでたくさん写真を撮るとりたりしてモエ沼公園の山にも登りました。

# 豊平第十三分区 町内会の紹介

会長 青山 豊

私達の豊平第十三分区は昭和四十二年、鉄南町内会として発足、その後、豊平第十二分区町内会とアカシヤ町内会に別れ、更に昭和五十四年に豊平第十三分区町内会としてスタートいたしました。

豊平地区の発展と共に平成二十一年に創立三十周年を迎えました。

創立三十周年記念祝賀会を平成二十一年九月十三日豊平センターマイライフに於いて、盛大に開催し、又、記念誌も発行いたしました。

古い豊平の歴史や町内会の活動や街並み等、カラー写真を入れて作成いたしました。発行に当たっては、担当編集委員は大変ご苦労されて仕上げた記念誌です。

ラジオ体操が始まって、生放送だったのに、山に登っていて、よくわからなかったけど、とりあえずものすごく楽しかったです。

一千万人ラジオ体操は初めてだったけど、ものすごく沢さんの人が来ていて、おどろきました。

行き帰りのバスの中でも、気がついていたら、へんな感じがいつてすごくパニックになったり、ねたりして子どももいたけど、それもいい思い出になりました。

できたまた何年後になるかわからないけど、行きたいです。

ラジオ体操最高！

平成二十四年四月現在の加入世帯数は四五二世帯です。当町内会活動は、主なものをあげると、二月新春懇親会、出席者は毎回八十五名程、会長から日頃の町内会活動に協力頂いた事に感謝し、健康に気を付けて欲しいとの挨拶、親睦の輪を深め、新春の抱負を語り合い、三月に町内十九班の班長や役員が出席し、町内の解決すべき諸問題や凶悪犯罪には連携をとりながら対応するなどの善後策を話し、町内会の運営発展のためには班長の協力無くしては達成出来ないと感じ、こめて記念品を会長から渡されます。

五月には花壇の植え込みや清掃活動など、定期総会は総務部を始め、会計部、社会福祉部、環境衛生部、体育振興部、青少年育成部、交通安全部、防火防犯部、街灯部、女性部があります。

懸案事項は全員で検討され地域に根ざし、自治活動として会員の生活を見守りながら推進しています。

七月の豊平神社祭には、子供達が担ぐ神輿や飾りつけ、夏祭りを盛り上げます。

ラジオ体操や町内花火大会にミニミニえんち、毎回百二十名程参加され景品を頂いて交流を楽しんでいます。

九月には野外レクリエーションとして、むつみ公園で百十名程参加して親子ドッチボール、防災機器取扱指導訓練、高齢者を囲んで交流、ビンゴゲームやバーベキュー、ジーンズカン等で親睦を図り一日満悦、十月には、秋の日帰りバスレク、秋の一日のんびり過ぎ、温泉料理を味わい、日

頃の疲れを忘れ交流を深めています。参加六十名程、近年はマンションや老人ホーム等が建設され、町内の街並も変わって来ました。

今年の定期総会で諸先輩達も高齢になり役員が変わり、新しい町内会発展の為、新役員一同頑張つて活動を進めたいと思つています。

課題として、役員会で使用しているデジタル創造プラザ「通称地域プラザ」が来年三月で閉鎖されますので、跡地に集会所「貸室、図書館、催事」等使用できる施設を豊平地区町内会連合会と相談しながら、区役所に要望をして行きたいと思つています。

役員や行事に参加される方の高齢化が進む中、若い人達にも町内会に関心を持っていただける地域に役立つ様、積極的に町内会活動への参加を呼びかけて参りたいとおもっております。





# 奉仕の心、地域のために

## 民生委員・児童委員

民生委員制度は大正六年、濟世顧問制度として発足、昭和二十三年に民生委員法が発令され種々改正を経て今日に至り、今年で九十五年目を迎えた長い歴史ある制度です。

「民生委員・児童委員」は「民生委員法」及び「児童福祉法」に定められ、厚生労働大臣に委嘱された無報酬のボランティアで、豊平地区には民生委員・児童委員四十三名(内三名は主任児童委員)が在籍しています。

年より、旭水会館(月一回、毎週第三火曜日)で「こりんこ旭水ひろば」と、東園小学校ミニ児童会館(月一回第一金曜日、第四金曜日)で「こりんこ東園ひろば」を開催しています。

も、当初は「生活困窮者の救済保護活動」が主体でしたが、地域社会が急激に変化し個人の価値観やライフスタイルも大きく変わってきた現在「地域福祉の自立支援のための活動」へと大きく変わりました。



激動する社会情勢の中、少子高齢化、核家族化の進行が止まらず、家族社会の絆は弱まり地域社会から孤立する人が増えてきています。

このような中で民生委員・児童委員は地域の身近な相談役として、行政を始めとして、専門職、関係機関のパイプ役として「子育てサロンのお手伝い」、「高齢者の見守り活動」、「独居老人の巡回訪問」、「児童、高齢者虐待の予防発見」といった活動をしています。

会的に孤立している人の他、法律や制度の狭間、社会の死角で誰にも助けを求められず、あるいは個人情報保護の壁に阻まれ助けの手を差し伸べることができずに亡くなしてしまふ人たちが、一人の死が、その人に寄り添っていった他の一人の命までも奪っていく。自分から SOS を発信しない人、発信できずに困っている人をどうやって探るか深刻な社会問題になっていきます。

毎月「お誕生会」の他、季節の行事も「七夕」、「十五夜」、「クリスマス」、「豆まき」、「お雛まつり」など行っており、毎回十五組くらいの親子さんが遊びに来てくれますが、サロンで遊びのスタンプ写真を撮って、プレゼントしたり、「アンパンマンのネームプレート」、「出席カード」、「紙芝居」、「人形劇」等いろいろ工夫して喜んでもらっています。また、来るたびに大きく、可愛くなる赤ちゃんに驚き、元気をもらっています。

現在は無縁社会と言われ、いろいろな意味での地域で社会的に孤立している人の他、法律や制度の狭間、社会の死角で誰にも助けを求められず、あるいは個人情報保護の壁に阻まれ助けの手を差し伸べることができずに亡くなしてしまふ人たちが、一人の死が、その人に寄り添っていった他の一人の命までも奪っていく。自分から SOS を発信しない人、発信できずに困っている人をどうやって探るか深刻な社会問題になっていきます。

# 地域防犯 犯罪に強いまちづくり

「誰でも、いつでも、どこでも、できる防犯活動」

今年は、ロンドンオリンピックが開催され全世界に華々しく放映されました。日本でも歴史に残るメダル数を獲得し、帰国後は東京銀座において五十万人もの人々が集まる中、メダリストの凱旋パレードが行われ、国民と共に喜びを分かち合いました。しかしそのオリンピックの裏側では大会に対するテロの恐怖や犯罪、暴力の抑止等で国中が防犯策を強力にひき、成功裏の下にオリンピックが閉会した訳ではありますが、私達市民も日常生活に於いては平穏に暮らしておりますが、この陰には地域に根差した警察力、また地域の防犯力



傾向にあり、地域防犯力の向上のため一層のパトロール強化が求められています。町連では地域防犯活動の犯罪抑止効果として、各町内会防犯部の連帯を強化し、町連防犯パトロール部会を平成十八年度に立ち上げ、連帯した活動を行っており情報交換、また勉強会、活動報告会など様々な角度から個々の能力を高めております。

また、青色回転灯装備車両によるパトロール活動、これは地域自主防犯活動の一つとして行われている活動で、その主たる目的としては、一、犯罪、事故、災害の被害を未然に防止する事。二、地域住民の安全に関する関心を高める事。三、パトロールに参加する事で地域との連帯感を強める事。四、地域の犯罪抑止機能を向上させる事。

傾向にあり、地域防犯力の向上のため一層のパトロール強化が求められています。町連では地域防犯活動の犯罪抑止効果として、各町内会防犯部の連帯を強化し、町連防犯パトロール部会を平成十八年度に立ち上げ、連帯した活動を行っており情報交換、また勉強会、活動報告会など様々な角度から個々の能力を高めております。

また、青色回転灯装備車両によるパトロール活動、これは地域自主防犯活動の一つとして行われている活動で、その主たる目的としては、一、犯罪、事故、災害の被害を未然に防止する事。二、地域住民の安全に関する関心を高める事。三、パトロールに参加する事で地域との連帯感を強める事。四、地域の犯罪抑止機能を向上させる事。

# 豊平地区の交通安全



豊平地区の交通事故死ゼロの日が去る四月二十日、二千五百日を達成する事が出来ました。

これは豊平区内で現在一番長い日数の地区となり十月一日現在も続いています。

これも豊平地区住民の皆様、交通安全活動に携わる指導員推進委員、母の会、各学校PTAの皆さんなどの協力があつたものと深く感謝申し上げます。

豊平地区は札幌中心部へ通ずる豊平橋への道路、反対には千歳へと通じている交通量の北海道で一番多い三十六号線、そして支笏湖、定山溪に通じる国道四百五十三号線が北海道を通過する交通事故の大変心配される国道一本が通っています。

毎朝の交通安全街頭指導に当たる交通指導員のみならず、各町内会役員、交通安全委員の会、小学校、中学校や父母の皆さんなど関係者が熱心に事故のないまちづくりへの活動が地道に続けられています。

結果であると思えます。本年度札幌市を通じてプロ野球日本ハムファイターズより地域活動の助成があり、豊平地区では交通安全パトロールや各種交通安全活動のために百六十着作成させて頂き、活用させていただいております。

今後とも豊平地区の交通安全活動に皆様のご協力をいただきながら、安全、安心なまちづくりを進めて行きたいと思っております。

豊平地区交通安全運動推進委員会

# ミステリーバスツアー

青少年育成委員会

今回豊平地区では、初めてミステリーバスツアーを企画しました。不慣れな中参加者には分からない様に二ヶ所を選定しました。参加者も期待を持たれたのか、役員を含めて五十八名が参加しました。

朝、豊平会館を出発し、バスの中で挨拶から始まり目的地は秘密と云う事でバスは北へ向います。東区を進むにつれ最初の目的地、丘珠空港に到着し、空港一階で参加者全員で記念写真を撮影した後、二階にある「札幌いま・むかし探検ひろば」を見学、開拓



ここが最大のイベント会場で、二班に別れ、アイスクリームとバター作りに分かれて作業が始まり、親子参加の家族は共同作業、アイスクリームは時間が勝負、氷の入ったボールの上にボールを

時から明治・大正・昭和・平成の札幌の建物・地域の写真パネルが展示されている施設を中川会長の説明で廻り、途中、飛行機の到着があり、全員で屋上デッキに上がり着陸する飛行機を見ました。約一時間見学の後、次の目的地へ向いました。バスの中では次々と

のせ中をマゼマゼ、段々牛乳が固まり始め美味しいアイスクリームが完成して、作業終了。その場で食べ始める家族教室から出て食べる子供達です。バター作りは小型の牛乳瓶を振る事により脂肪分が分離する様、手首を利かせシェイク、3分×5分、分離を確認後、下処理して完成。添付されたラップカーに付け試食ができました。

## 豊平の歴史巡り

### 本願寺街道を巡る

九月二十三日(日) 今年の歴史巡りは、明治四年に完成した虻田の尾去別(現長和)まで百四キロの本願寺街道を訪ねる企画で、旧道や石碑が残っている天神山、みすまい、中山峠を巡る旅でした。

最初は平岸の南区と豊平区の境目、天神山の麓にある本願寺街道終点碑でした。

明治四年、開拓団六十二戸が入植した平岸の街道に通じる道路が本願寺街道でした。当時豊平川にはようやく明

治四年豊平橋が出来たばかりで、定山溪や石山から現在の中央区へ渡る事が出来ませんでしたので、真駒内から平岸への道路が出来ました。

昭和十五年、平岸開拓十年の企画としてこの道路を調査され、この地に記念碑が建立されました。

参加二十一名を乗せたバスは、次のみすまい中学校裏の当時のまま残っている旧道へ、みすまい通行屋を管理されている四代目の黒岩裕さんが迎

えて下さり、案内をして頂きました。小高いコースを登るとやがて街道碑があり、中学校のグラウンドへ、現在は住宅街になっている道路脇に旧道案内板があり、その坂を下るとみすまい通行屋です。

屋内には当時の生活道具や写真、熊の毛皮、などが展示され障子の戸が懐かしく、昔自分の家にあった事を思い出しました。

十一時に定山溪へ、入浴、昼食、休憩後中山峠へ、ニセコや洞爺湖へ行く途中いつもトイレやイモを買い、休憩するのですが、ここに旧本願寺街道碑と道路開削をした現

## 健康フェアとよひら

豊平地区の皆様の健康を考える催しとして「健康フェアとよひら」が、九月三十日、豊平会館で開催されました。

これは、とよひら福祉のまち推進センターの主催で、豊平地区の町内会連合会女性部、老人クラブ、日赤奉仕団、食生活改善推進員協議会ほかの各団体にも尽力いただき、たくさんの方々が来場者を迎えました。

「健康づくり体験コーナー」では、骨密度測定と血管年齢測定が特に女性の皆様の関心が高く好評でした。また、豊平区内の鍼灸マッサージ師の先生方によるマッサージ体験が人気で、お一人様十分間と短時間ながらも「良く効いた」との声がありました。

「食生活改善コーナー」では、「地産地消と環境に配慮したさつぼろの食」メニューが人気で、お一人様十分間と短時間ながらも「良く効いた」との声がありました。



本願寺街道を巡る様子

の試食で高野豆腐を使ったふわふわの生地のピザが用意され、おいしくいただきました。腎臓内科めぐみクリニックの佐藤恵先生による腎臓についての講演は、塩分を控え、腎臓を守るためのわかりやすいお話がありました。



健康フェアの様子

### ☆お知らせ☆

- 豊平地区町内会連合会からのお知らせ
- ◎祝 次の方々が表彰を受けられました。
- 北海道社会貢献賞 (地域活動推進功労者) 関 正明氏(豊平三の二)
- 北海道社会福祉協議会会長(青少年健全育成功労者) 青田哲夫氏(水車町四)
- 全国民生委員児童連合会永年勤続民生委員・児童委員表彰 前田京子氏(豊平六の三)
- 北海道衛生団体連合会会長表彰 村上忠徳氏(豊平六の六)
- 豊平区クリーンさつぼろ衛生推進協議会清掃ボランティア

ア活動実践者表彰 丸山節子氏(豊平一の十三) ◎今後の主な豊平地区の行事 ◎十月から来年三月まで ◎共同募金街頭募金運動 十月一日(月)～十月六日(土)

◎秋の子どもレクリエーション親子サイクリング 十月七日(日)

◎豊平地区町内会全地区の秋の一斉清掃 十月十四日(日)又は二十一日 ※今年最後の一斉清掃です。実施日は各町内会から連絡されます。皆で参加し、クリーンで住みよいまちにしましょう。

○鉄一が里とよひら塾第三講 留学生との料理の競演 二月中旬 詳細未定

○豊平地区まちづくり連絡会 三月下旬 詳細未定

○豊平地区町内会連合会合同研修会 十月二十五日(木) ◎第十二回鉄一が里とよひら職人物語 十一月四日(日) ※冬実施から秋実施に変更しました。豊平会館(豊平六の七)で、職人の技をぜひご覧ください。

○秋季女性バレーボール大会 十一月十一日(日) ◎冬の交通安全運動街頭啓発 十一月十五日(木) ◎札幌保育園創立九十周年記念式典 十一月二十二日(木)

○とよひら福祉のまち推進センター・お元氣グッズ配布 十二月中旬

### 編集委員

- 中川 昭一
- 松野 博志
- 佐藤 郁子
- 柴田 芳行
- 越前 勝利
- 宮井 正勝
- 細川 紀男
- 石川 明幸
- 下濱 幸